

令和5年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 田主丸小学校プラン

《学校の教育目標》 学びをつなぎ、友とつながり、地域とつながる、たくましく生き抜く子どもの育成

〈本年度 学校の重点目標〉 伝え合い、わかり合う喜びを感じる子どもの育成

基礎的・基本的な知識および技能を習得し、他の学習や生活場面に生かすことができる。  
【つくる力】

自分の考えを伝えたり相手の意見や思いを理解したりしながら協働できる。  
【つなぐ力】

めあての達成に向けて自分から努力を続け、振り返りを生かして挑戦しようとする。  
【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

- ①学力向上プラン「視点2」に記載
- ②子どもの疑問(予習学習)等を基にめあてを設定し、モデルとなる情報を絵、写真、図、動作などで視覚的に示し、問題解決学習を積み上げる。(算数 中学年以上:毎時間 低学年:重点単元)
- ③デジタル教科書の有効活用、chromebookの多様な機能を生かした学習活動、スタディログを残す取り組みを行う。(1日3時間)  
【成果指標】「授業でタブレット・ICTを利用するのが楽しみ。」と答える児童85%以上
- ④校内放送や集会等で外国語に慣れ親しむ場の工夫(月1回)と楽しく学ぶ授業の活動構成を行う。(外国語 毎時間)

笑顔の先生

- ①学力向上プラン「視点4」に記載
- ②会議の人数・時間設定・内容が適切か見直す(学期1回)提案資料はデータにする。(毎回)  
【成果指標】「先生は分かるまで教えてくれる」と答える児童の割合が85%以上

協働する学校・家庭・地域

- ①地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ②地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③学力向上プラン「視点4」に記載



楽しい学校

- ①くるめアクションプランの初期対応を徹底する。(毎日)いじめ・不登校対策委員会で、個に応じた対応策を検討し、関係機関と連携しチームでの対応を行う。(月1回)学校生活の状況や悩みを把握するアンケートを実施し(毎月)、教育相談週間を設定・実施する(学期1回)  
【成果指標】長欠児童の出席日数が前年度より増加する。担任への相談によるいじめの認知件数が増加。
- ②保健室と連携をした安全指導(「休み時間の過ごし方」「けが人数と発生場所、原因」を伝える。)(月1回)避難訓練等(3回)を計画的に実施する。
- ③学びの振り返りを設定し、「できるようになったこと」「どのようにしてできるようになったのか」「友達の(考えの)よさ」を、ペアやグループで相互評価をする活動を行う。(毎日1回)

【体力向上】

- ①体育の時間のはじめにラジオ体操を基本に筋力や敏捷性を高めるための運動を取り入れる。(毎時間)
- ② 田主丸小チャレンジ広場(縄跳び)  
(「1校1取組」運動)  
・体力アップシート活用率:目標 90%  
・スポコン広場登録学級数:目標 6学級

【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ①校長及び高学年児童が(2学期、3学期に)「あいさつ運動」を行う。
- ②「ひざについて掃除・だまって掃除」を合言葉とし、掃除の振り返りで自己評価を行う(週1回)。
- ③自主学习を奨励する(週1回)とともに、家庭学習がんばり週間を設定する(年間5回)

基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】人権・同和教育の系統化を図り、互いの共通点や差異点があることの価値に気付き、認め合う授業づくり、学級経営を行う。 [要綱 P143~参照]
- 【特別支援教育】個の実態把握を細やかに言い、協働的な支援を行う。 [要綱 P56 ~参照]
- 【キャリア教育】キャリアパスポートを活用して自己の伸びを認め合う。 [要綱 P173~参照]